

医局紹介



DATA

広島大学病院 総合内科・総合診療科

〒734-8551

広島県広島市南区霞1-2-3

E-Mail : soushin@hiroshima-u.ac.jp



HPはこちら



Instagramはこちら

医局員… 17人
指導医… 12人
専攻医… 12人
(関連施設を含む)

Medical Office.02

広島大学病院 総合内科・総合診療科

伊藤 公訓 教授



【医局紹介】 広島大学病院総合内科・総合診療科は、1989年に総合診療部として創設されました。国立大学病院では全国で3番目です。初代教授は外科学出身の横山隆先生、2代目教授は消化器内科出身の田妻進先生で、私が3代目として2019年10月より教室を引き継ぎました。私も元々は消化器内科の出身です。このように、当科ではいわゆる臓器専門医出身者が総合診療科を担当してきました。スタッフも消化器内科のみならず、救急科、リハビリ科、皮膚科など出身は多様です。

これは当科だけのことでなく、現在の日本の家庭医療を支える大多数の医師は各臓器専門医出身者です。ところが昨今、総合診療医の重要性が大きくクローズアップされ、社会には「プロの総合診療医」を求める機運が高まっています。幅広い分野において高い診療能力を有する医師が求められているのです。2018年から始まった総合診療専門医制度や、2024年度の医学部入学者から適用される医学教育モデル・コア・カリキュラムは、これら社会背景を強く反映しています。

厚生労働省も新しい総合診療医育成支援制度を創設し、全国の総合診療医育成を後押ししています。後述の広島大学病院総合診療医センターは、この支援制度の下、設置されました。われわれの最も重要なミッションは「社会に貢献できる優秀な総合診療医を育成すること」です。

さて、総合診療医には他の診療科と大きく異なる価値観がありま

す。それは、「地域を支える」という点です。とかく学生・研修医はネームバリューのある有名病院に身を置き、全国を転々としながら自分のキャリアを築こうとします。それでは「地域を支える」医師はなかなか育ちません。地域に根付き、地域を真に理解し、その地域を愛し、地域のために働く喜びを感じられる医師を、ここ広島で育てたいと思っています。そしてその総合診療医たちが地域に残り、次の世代の総合診療医を育てる、そういったサイクルをつくり上げていきます。地域を支える使命を持つ広島大学病院だからこそできることです。

幸い広島県には、独学で総合診療の黎明期を支え、道を切り開いてきた優れた指導者や、自治医大出身のプロの総合診療医が多数おられます。そんな先生方と大学が力を合わせ、オール広島で総合診療医を育成していきます。ぜひ広島県のチャレンジにご期待ください。もちろん他県からのご参加も大歓迎です。

文責：伊藤 公訓(教授)

【広島大学病院総合診療医センター】 2023年10月、広島大学病院総合診療医センターを開設しました。厚生労働省が2021年に「総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業」として、総合診療医センター設置の公募を開始してから3年目となる2023年に、全国で8番目のセンターとして採択されました。広島県は無医地区が多い県として、北海道に次ぐ全国ワースト2位。地域医療はもちろん、県全体の医療提供体制を維持・充実させる取り組みが急務です。これらに対する解決策は総合診療医の育成、総合診療の充実と考えています。

現在、県内には広島大学を含め8つの総合診療専門研修プログラムがありますが、当センターが各プログラムの局所最適と県内医療の全体最適を同時にかなえるべく機能しています。カフェ風のおしゃれなスペースでおいしいコーヒーを淹れ、皆さんをお待ちしています。

文責：東條 環樹(広島大学病院総合診療医センター長)